

# 写真で見る東北の過去・現在・未来

## 3月9日マニラで対談講演会

### 飯沢耕太郎(写真評論家) × 津田直(写真家)

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、現在、フィリピン国立博物館(マニラ)で、写真展「東北 風土・人・暮らし」を開催中です。このたび、同展の監修者である飯沢耕太郎氏(写真評論家)と、出展作家の一人、津田直氏(写真家)による対談講演会を、3月9日(土)に同博物館で開催します。

東日本大震災の被害を受けた東北地方とは本来どのような地域か、どういう自然に囲まれ、人々はどのように暮らしてきたのかを写真を通じて伝え、東北の未来をフィリピンの観衆とともに見つめます。

**日時** 2013年3月9日(土) 15時 ~ 17時  
**会場** フィリピン国立博物館(ファベリャホール)  
 日本語(英語逐次通訳つき)

#### 飯沢 耕太郎(いゐざわ こうたろう) / 写真評論家

「東北 風土・人・暮らし」展企画監修。主な著書に、『戦後写真史ノート 写真は何を表現してきたか』(中公新書 1993年)、『写真美術館へようこそ』(講談社 1996年/サントリー学芸賞)、『写真的思考』(河出書房新社 2009年)、『アフターマス 震災後の写真』(NTT出版 2011年)など。



#### 津田 直(つだ なお) / 写真家

国内外で多数の作品を発表し続け、21世紀の新たな風景表現の潮流を切り拓く新進の写真作家として注目されている。主なシリーズに、「近づく」(2001 - 2004年)、「漕」(2005 - 2009年)、「SMOKE LINE」(2008年)、「果てのレラ」(2009年)など。2010年から東北地方の縄文時代の遺跡を撮影。「東北 風土・人・暮らし」展には、「夜ノ森駅」(2006年/福島)、「船久保遺跡」(2011年/岩手)他計12点を出品。



#### 写真展「東北 風土・人・暮らし」展 開催中

会期 2013年1月29日(火) ~ 2013年3月17日(日)

会場 フィリピン国立博物館(ナショナルアートギャラリー)

\* 東日本大震災から1年を経た2012年3月に制作、国際交流基金主催で世界各地を巡回中の写真展。中国・北京とイタリア・ローマを皮切りに海外約50都市を5年間に亘り巡回します。

[http://www.jpff.go.jp/j/culture/exhibit/oversea/traveling/photo\\_tohoku.html](http://www.jpff.go.jp/j/culture/exhibit/oversea/traveling/photo_tohoku.html)

お問い合わせ: 文化事業部 企画調整チーム 担当: 山本 電話 03-5369-6060

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

[www.jpff.go.jp](http://www.jpff.go.jp)

## 写真展「東北 風土・人・暮らし」展

日本の原風景が生き続けている東北の姿を長年に亘り見つめ続けた、世代も表現方法もまちまちな、東北地方ゆかりの9人と1組の写真家たちが1940年代から今に至るまでの間に撮った作品、約120点を世界の人々に紹介する。東日本大震災の被災状況や復興のようすのレポートとは異なり、あえて3.11後の写真は外して東北の成り立ちの部分にスポットを当てることで、震災や津波がもたらした非日常性とそれ以前の日常的な暮らしとの間の空白を埋めようとする試み。写真家の視点を通じ、豊かな東北の風土、文化や歴史、奥深い東北本来の魅力を紹介し、被災した地域はどのような地域か、どういう自然に囲まれ、人々はどのように暮らしてきたのかを伝える。飯沢耕太郎氏監修



マニラでの展覧会風景(フィリピン国立博物館ナショナル・アート・ギャラリー)

### 監修によせて(飯沢耕太郎)

今回はあえて「3.11」以降の写真をはずすことにした。それらの写真が既に、新聞、雑誌、インターネットなどに大量に発信されており、また写真集のような形で目にすることも多いので、あらためて展覧会を組む必要性を感じなかったというのが理由の一つである。さらに、むしろ震災で大きな被害を受けた東北の成り立ちを、写真を通じて浮かび上がらせることができないかと考えたということもある。東北地方に色濃く残る縄文文化の遺産、それがどのように受け継がれ守り育てられようとしているかを、写真から読み取っていただきたいのだ。

「縄文の再生『東北 風土・人・暮らし』展に寄せて」(展覧会カタログ序文より)

### 津田直 出品作品(全12点)

- 左：津田直 FIELD NOTES「夜ノ森駅」2006年/福島
- 中：津田直 FIELD NOTES「船久保遺跡」2011年/岩手
- 右：津田直 FIELD NOTES「麓山神社の火祭り」2006年/福島



お問い合わせ：文化事業部 企画調整チーム 担当：山本 電話 03-5369-6060